

品川区議会議長 大沢 真一様

リオ・オリンピック視察・調査への議員派遣の中止を求める申し入れ

2016年6月28日 日本共産党品川区議団

維新・無所属品川

品川・生活者ネットワーク

舛添前知事の辞職に続き、国民都民区民の間で税金の使い方に対し厳しい意見が止まりません。24日、東京都議会がリオ・オリンピック・パラリンピック議員派遣中止を発表しましたが、区議会にも厳しい目が向けられています。

品川議会では、4月6日濱野区長より「2020年東京大会で品川が3競技の会場になるに当たり、運営状況確認のために文化スポーツ振興部長、オリンピック・パラリンピック準備課長など職員5人が行う視察に議員2名の同行を」との要請を受け議論をしてきました。

議会運営委員会をへて5月26日臨時議会にて「リオデジャネイロオリンピック競技大会視察・調査への議員派遣が賛成多数で決定しました。

第2回定例会で2会派が一般質問を行いました。オリンピック本番中に視察を行う必要性が不明確、1人300万円総額2,100万円の高額な視察費用が減額されるとの答弁がありましたが、区民の生活実態から到底理解を得られないとの判断からです。

議員派遣に反対してきた私たち3会派は、改めて議員派遣の中止をここに申し入れます。